

1-3 地域研究会・合同地域研究会の実施



東京大学地震研究所

1. 地域の防災リテラシー向上に向けた取組

1-1 防災教育に対する知識構造的アプローチ

1-2 沿岸防災手法の工学的評価

要望

提案

1-3 地域研究会・合同地域研究会の実施

- 各種報告・情報共有
- 話題提供と質疑応答
- 防災リテラシー向上のための意見交換 など

話題提供と意見交換

- 出席機関：
 - ・ 行政（国、道県、市町村、消防等）
 - ・ 研究者
 - ・ ライフライン事業者（電力、交通、通信、ガス等） など

● 地域研究会

- 北海道、秋田県、山形県、新潟県、富山県、鳥取県、福岡県
- 開催内容、出席機関等を事前協議
- 地域の状況に応じ様々な形式・内容で開催

● 合同地域研究会

- 福岡県地域研究会に佐賀県・長崎県にも参加を呼びかけ、九州合同地域研究会としての性格を併せもたせる

2. 津波波源モデル・震源断層モデルの構築

3. 津波および強震動の予測

自然科学の知見を活かした災害対応能力(地域防災力)の向上

地域研究会のフレームワーク

H25

H26

H27

H28

H29

H30

H31

H32

H33~

- 設立・体制構築
- 現状の把握・認識
- 課題の抽出

- 各地域に影響を及ぼす地震・津波の特徴
- 意見交換、情報共有、表相互理解

- 地域毎に正しい理解
 - 地域（特性）を知る
 - ハザードを知る
 - リスクを知る
- 地域特性に応じたテーマ
- 地域特性に応じた複数の被害パターン
- 新たな課題の発見、課題解決方策
- 意見交換、情報共有、相互理解

日本海地震・津波防災モデル

- ① 到達時間が短い
 - 呼びかけ方法
 - 救助方法 など
- ② 低頻度災害
 - 事前の備え
 - 防災教育のあり方 など
- 地域固有の対策

地域の防災リテラシー向上

- 未来へつなぐ
- 持続可能な防災

災害対応能力の向上

防災対策への効果把握・改善

地域社会への還元

新たな知見・研究成果、担当者の移動 → 情報の継続・更新 → 持続的連携体制

活動主体【国・道府県→市町村、ライフイン事業者、消防等→地域（自主防）】⇒ 地域住民

地域研究会のフレームワーク



- 未来へつなぐ
- 持続可能な防災

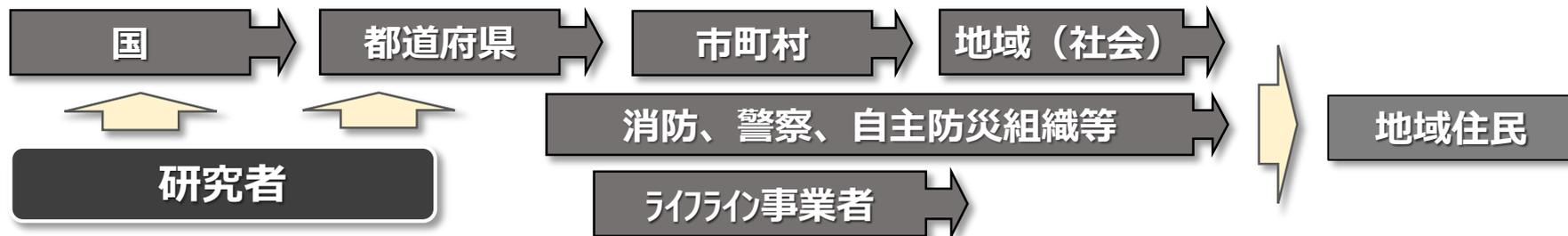
↓

災害対応能力の向上

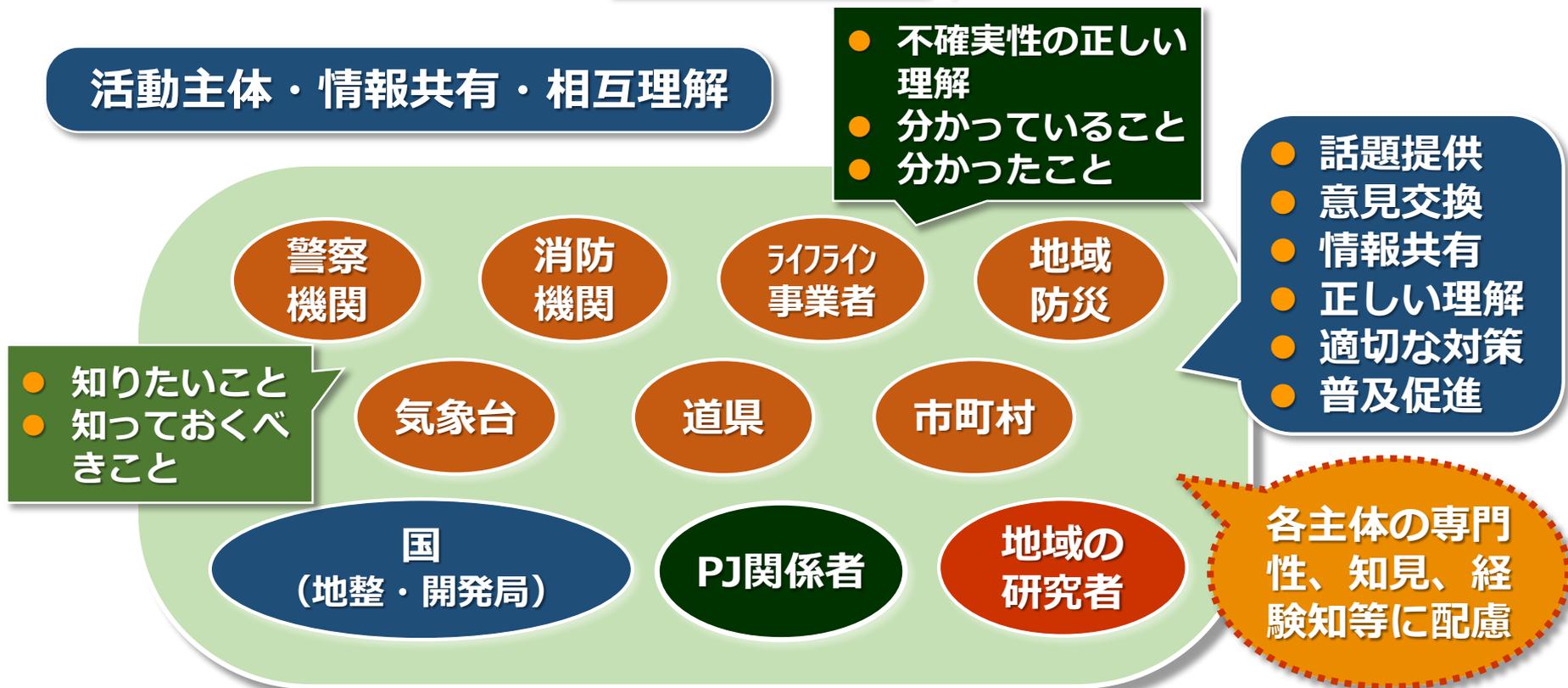


地域研究会のフレームワーク

施策の流れと活動主体



活動主体・情報共有・相互理解



法律等の変遷と地方公共団体の対応状況

津波対策の推進に関する法律（内閣府、H23.6.24）

道府県が津波浸水想定・津波被害想定、公表

津波防災地域づくりに関する法律（国交省、H23.12）

市町村が津波ハザードマップ作成、公表

災害対策基本法改正（内閣府、H25.6.21）

- 中央防災会議 : 防災基本計画
- 指定行政機関・指定公共機関 : 防災業務計画
- 都道府県・市町村防災会議 : 地域防災計画
- 市町村の居住者・事業者 : 地区防災計画

道府県が地域防災計画を修正

国土強靱化基本法（内閣官房、H25.12.11）

市町村が地域防災計画を修正

防災基本計画（中央防災会議、H26.1改正）

地区防災計画ガイドライン（内閣府、H26.3）

「日本海における大規模地震に関する調査検討会」報告書による津波断層モデル公表（国交省・内閣府・文科省、H26.8.26）

道府県が津波浸水想定・被害想定を再検討（H27）

水防法改正

消防法改正

災害救助法改正

その他

平成27年度進捗状況・予定

北海道地域研究会【積雪期・寒冷期の防災】

●開催日時：平成27年11月18日（予定）

●内 容：第一部 講演「冬期の複合災害を考える」
（講師：上村 靖司 氏 長岡技術科学大学大学院 機械創造工学専攻 教授）
第二部 ワークショップ「冬期の複合災害を考える（仮題）」
（ファシリテータ：定池 祐季 氏 東京大学大学院 CIDIR 特任助教）
（コメンテーター：谷岡勇市郎 氏 北海道大学大学院理学研究院 教授）

●出席機関： **国** **道** **市町村** **気象台** **研究者**

※第一部は「ほっかいどう防災教育協働ネットワーク」構成員に公開

※第二部は道内沿海81市町村の防災担当者を主な対象

秋田県地震・津波防災地域研究会【秋田県の津波防災】

●開催日時：平成28年2月（予定）

●内 容：第一部 話題提供「1983年日本海中部地震を振り返る」
（工学面：松富 英夫 氏 秋田大学大学院 工学研究科 教授）
（社会学面：関谷 直也 東京大学大学院 CIDIR 特任准教授）

第二部 意見交換「日本海中部地震を振り返り、
これからの津波防災を考える」

●出席機関： **国** **県** **市町村** **消防機関** **気象台** **ライオン** **研究者**

平成27年度進捗状況・予定

富山県地震・津波防災地域研究会【富山県の海岸防災】

●開催日時：平成28年2月（予定）

●内 容：第一部 話題提供「富山県の海岸特性と津波対策について（仮題）」
（佐藤 慎司 東京大学大学院 工学研究科 教授）

第二部 意見交換「富山県の海岸防災を考える」

●出席機関：

国

県

市町村

消防機関

気象台

ライオン

海上保安部

地域防災

研究者

鳥取県地震・津波防災地域研究会【人口減少社会の地域防災（調整中）】

●開催日時：未定

●内 容：未定

●出席機関：

国

県

市町村

消防機関

気象台

ライオン

研究者

※鳥取県西部地震15年 大学連携シンポジウム

～人口減少社会において地域を共に守り創る～

（平成27年9月19日、主催：鳥取大学、鳥取県、とっとり防災・危機管理研究会）

※鳥取県西部地震15年フォーラム～人口減少社会に地域を共に守り創る～

（平成27年10月6日、主催：鳥取県）

平成27年度進捗状況・予定

福岡県地震・津波防災地域研究会【都市防災】

- 開催日時：平成27年12月22日（予定）
- 内容：第一部 講演「都市防災（都市、地下街、火災、帰宅困難者等）（仮題）」
（講師：廣井 悠氏 名古屋大学 減災連携研究センター 准教授）
第二部 意見交換「都市防災を考える」
- 出席機関：国 県 市町村 気象台 研究者

※佐賀県・長崎県の参加により、九州合同地域研究会としての性格を併せ持たせる

平成27年度 参加予定機関

地域	国			道県		市町村	消防	地域 防災	ライフライン 事業者	研究者
	地整・ 開発局	出先 機関	気象台	関係 部局	出先 機関					
北海道	◎	-	○	◎	○	○	-	-	-	◎
秋田県	○	○	○	◎	-	○	○	-	○	◎
山形県	-	-	○	◎	◎	○	○	-	-	-
新潟県	◎	-	○	◎	-	○	-	-	-	○
富山県	○	○	○	◎	-	○	-	○	○	○
鳥取県	○	○	○	◎	-	○	○	-	○	◎
福岡県	◎	-	○	◎	-	○	-	-	-	◎

◎ : 事前協議を含め主体となる機関

※ : 福岡県地域研究会には佐賀県・長崎県が参加し、九州合同地域研究会としての性格を併せ持たせる